

T4M サーマルプリンタ クイックリファレンスマニュアル



MUNAZO CO.,LTD

ムナゾ株式会社

〒658-0032神戸市東灘区向洋町中6-9

KOBE FM 10F

Phone 078-857-5447 Fax 078-857-5443

e-mail:munazo@cam.hi-ho.ne.jp;

munazo@munazo.jp

<http://munazo.jp>

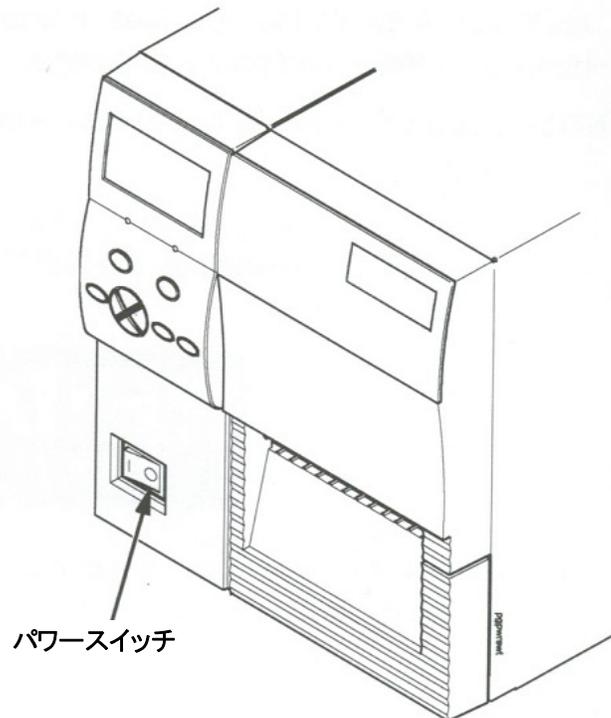
<http://astronix.org>

目次

| | |
|--------------------------|----|
| プリンタセットアップ | 1 |
| リボンとロールメディアの取り付け | 3 |
| リボンの取り付け | 3 |
| メディアロールの取り付け | 6 |
| メディアセンサーアセンブリの位置づけ | 9 |
| コントロール及びインジケータ | 12 |
| パワースイッチ | 12 |
| コントロールパネル | 12 |
| バーコードデモテストを行う | 13 |
| 隠れメニュー | 13 |
| プリンタセットアップウィザードを起動 | 13 |

プリンタセットアップ

前 面



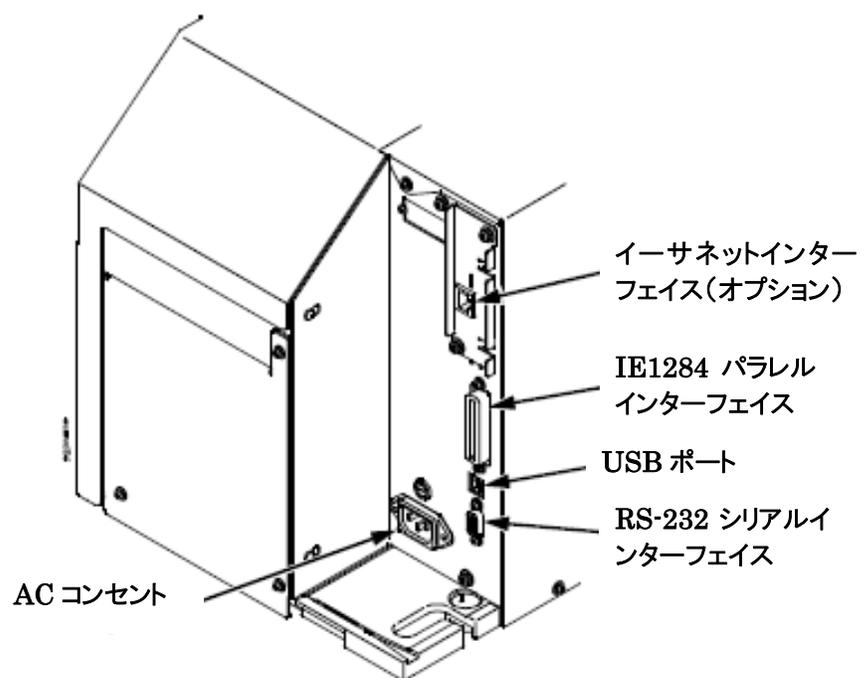
1. プリンタにすべての面(両側面、前面、背面)からアクセスできる場所で、平らな所にプリンタを置いてください。

注意:プリンタを横にしたり、逆さまにしたままでは決して作動させないで下さい。

2. プリンタのパワースイッチが OFF (0)になっているかチェックしてください。
3. プリンタの背面で、必要なインターフェースケーブルを適切なコネクタとホストコンピュータに接続してください。

警告:プリンタが正しくアースされていないと、オペレータに電気ショックを与えることがあります。このプリンタは、国際安全基準に沿って、三足パワーコードを備えています。パワーアウトレットに正しくプラグインされると、アースコンダクターがプリンタシャーシがアース電位になっていることを確認します。アダプタープラグを使ったり、ケーブルプラグからアース端子を取り外したりしないで下さい。延長コードが必要な場合、そのコードは正しいアースプラグのついた三足ケーブルを使用してください。

背面



4. AC パワーコードを AC コンセントに差し込んでください。
5. AC パワーコードを正しい電圧の三足アウトレットにつないでください。(プリンタの電源はまだ入れないで下さい)

リボンとロールメディアの取り付け

重要： 最良の結果を得るため、Printronix の純正消耗品のみを使用してください。

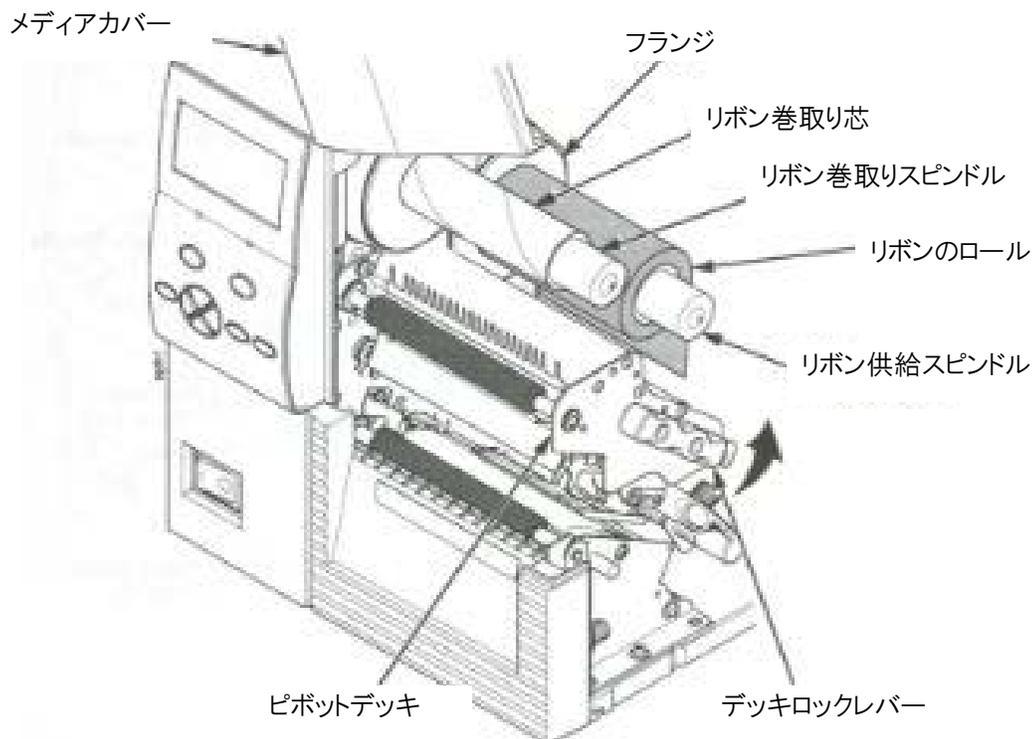
注意： プリントヘッドやプリントヘッドアセンブリの電子部品に触れないで下さい。

注意： ラベルストックをプリントヘッドとプラテンの間に設置せずに軸受けを閉じないでください。プラテンの上の破片がプリントヘッドを傷める危険性があります。

注意： 体の表面やその他いろいろな物の表面に溜まった静電エネルギーの放電がプリントヘッドや、この機器に組み込まれている電子部品にダメージを及ぼすか破壊してしまうことがありますので、セットアップの時には電子コネクタに触れないでください。

リボンの取り付け

ダイレクトサーマルプリンティングの場合、このセクションは飛ばしていただいて結構です。

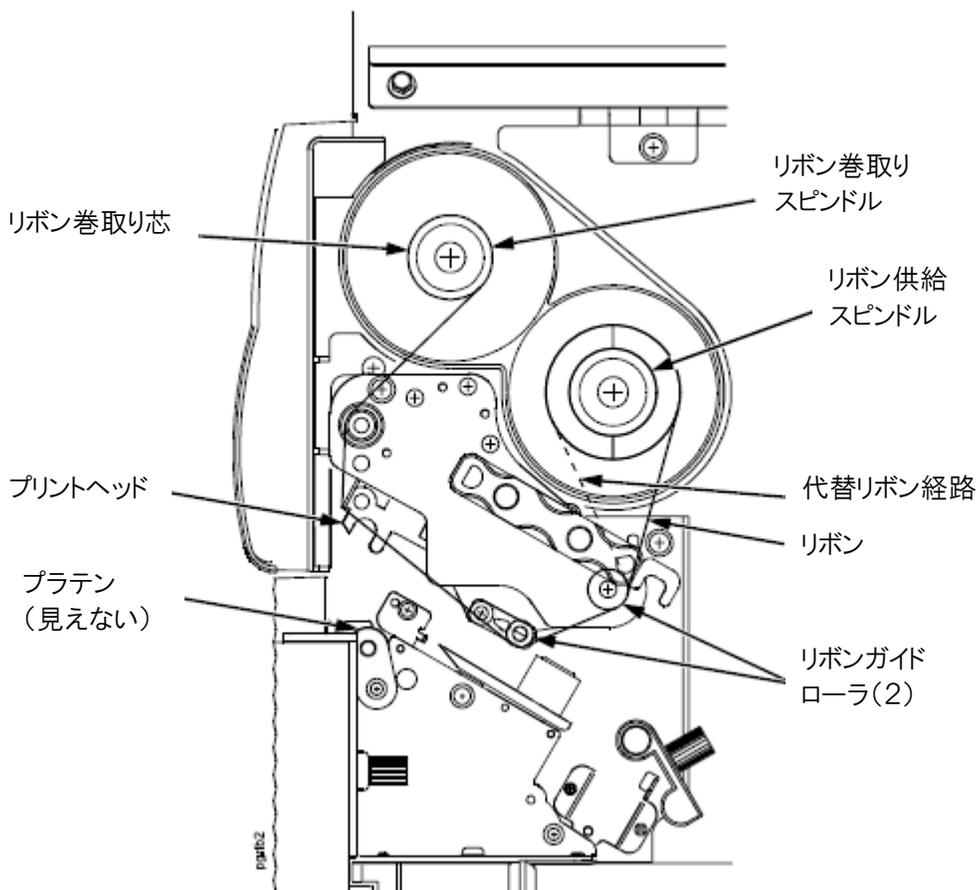


重要: リボンを交換するたびにプリントヘッド、プラテンローラー及びメディアセンサーをきれいにしてください。

1. メディアカバーを上へ持ち上げてください。
2. リボンの巻き取り芯をリボンの巻き取りスピンドルに設置してください。

注記: 最初のリボンの巻き取り芯はプリンタに付いてきます。その後は、リボンを使い終わった後に空の芯をリボン供給スピンドルから巻き取りスピンドルに移してください。

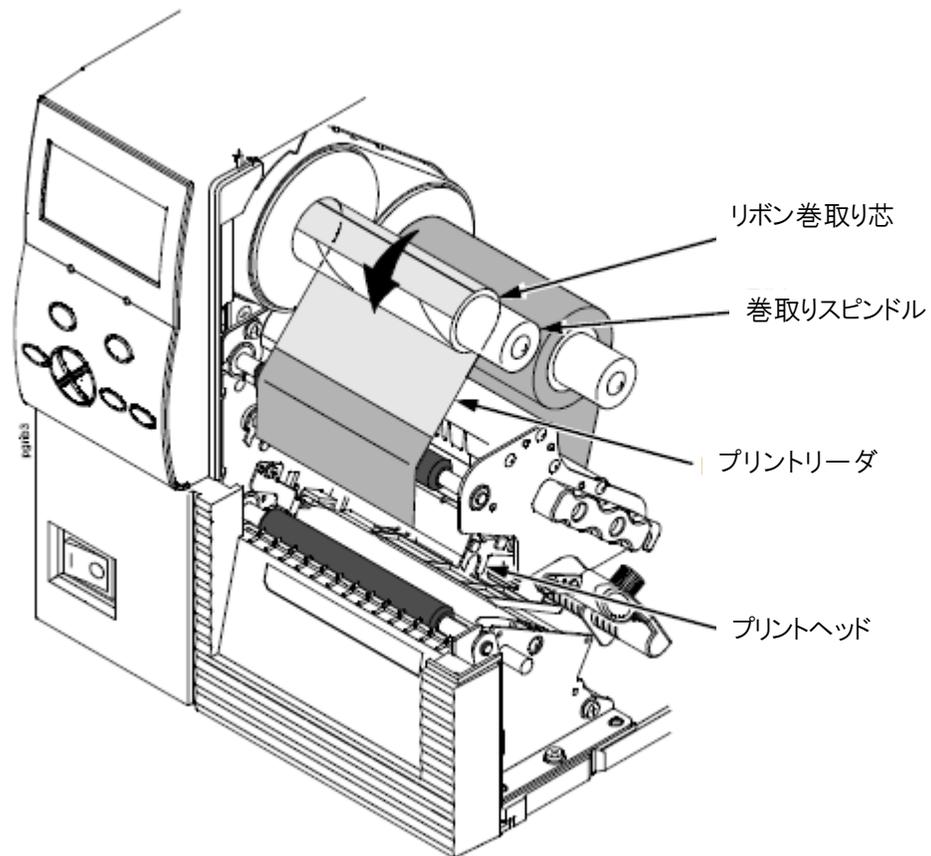
3. リボンロールがフランジに接触するところまでリボン供給スピンドルに差し込んでください。
4. ピボットデッキを開き、ロックレバーを時計回りに回転させ、デッキが上に上がってくるまで回して下さい。



5. リボンの端をリボンガイドローラーの下、プラテンとプリントヘッドの間及びリボン巻き取りスピンドルとリボン供給スピンドルの間に通して下さい。

注記: リボンは必ずリボン巻取りスピンドルの後ろ側に通して下さい。

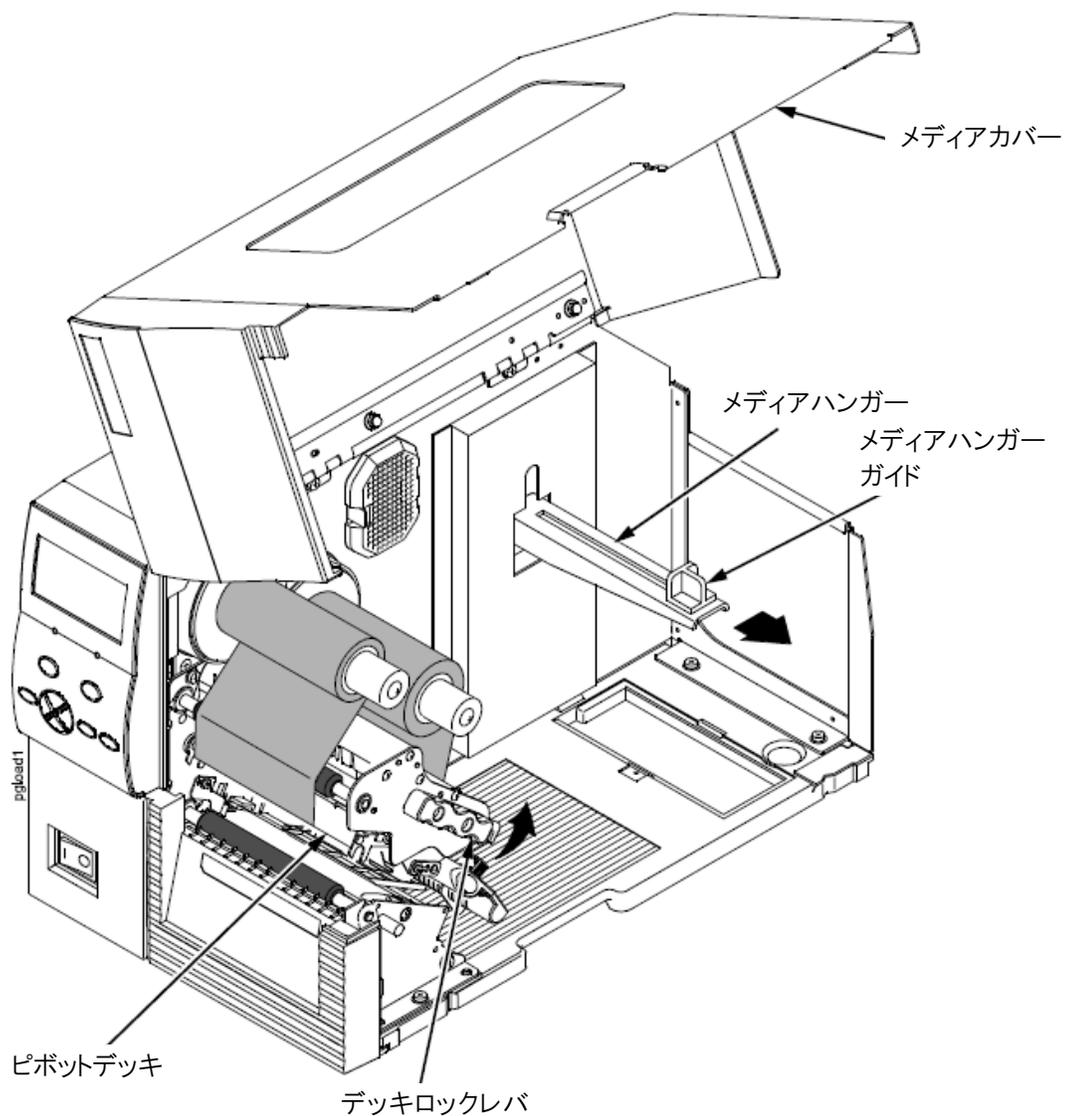
注記: 代替のリボン経路は裏側にインクがのったリボン用です。



重要: リボン巻取りスピンドル芯なしに、リボンを巻取りスピンドルに付けないで下さい。

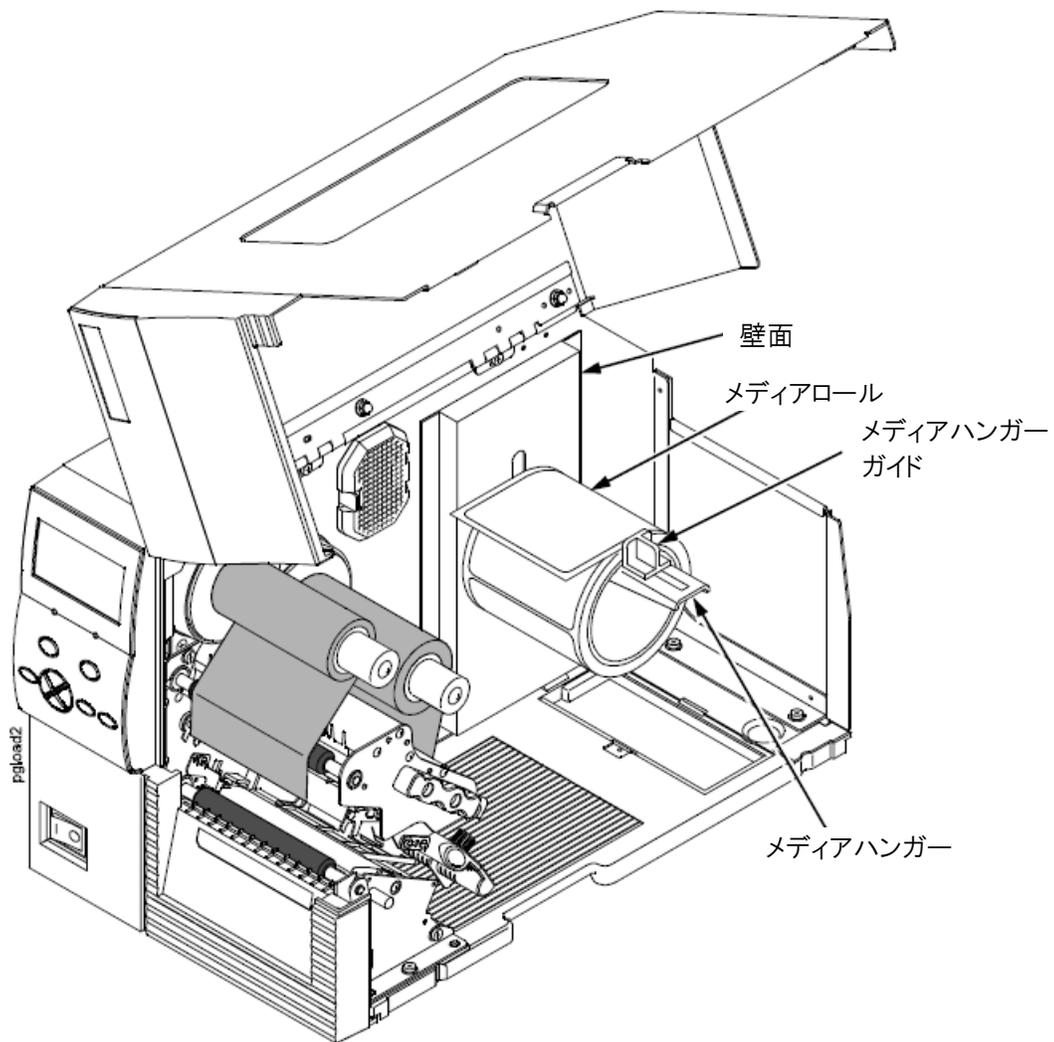
6. リボン巻取りスピンドル上のリボン巻取り芯にリボンをテープで取り付けてください。
7. リボンリーダがプリントヘッドを通り過ぎるまで、リボン巻取りスピンドルを手動で反時計回りに回してください。

メディアロールの取り付け

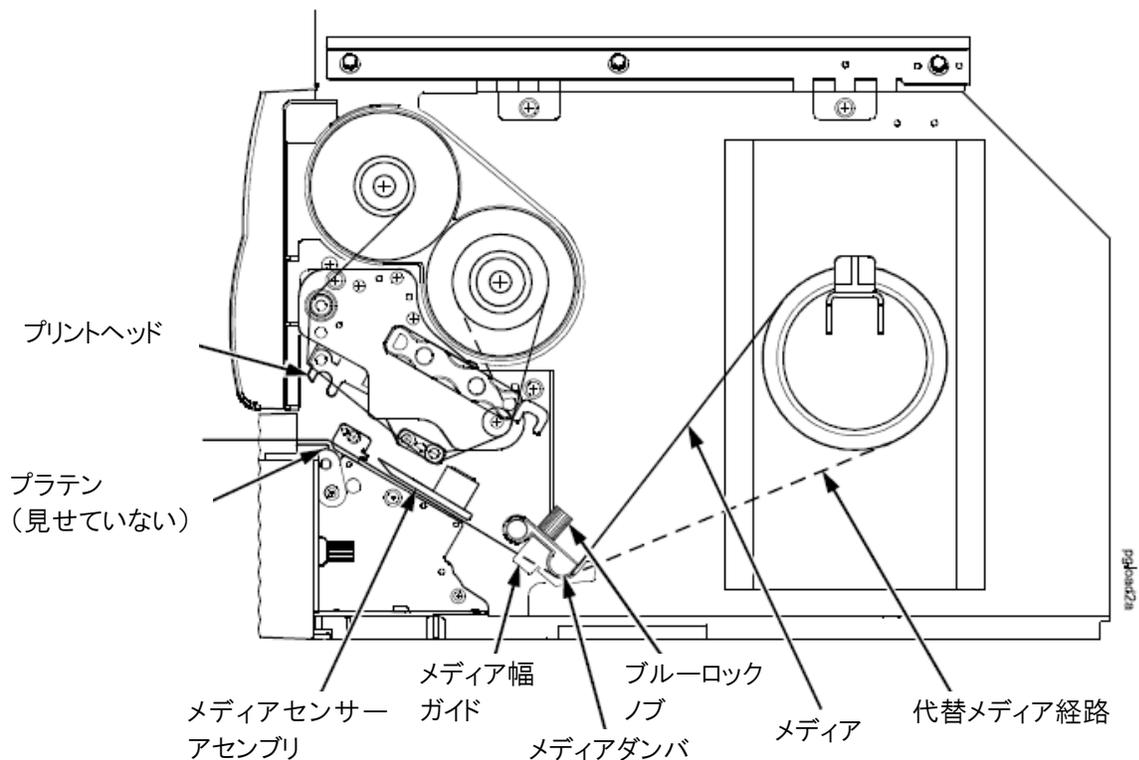


重要: ダイレクトサーマルモードを使用する場合は、メディアを交換するたびにプリントヘッド、プラテンローラ、及び上部と下部のメディアセンサーをきれいにしてください。

1. メディアハンガーガイドを上記の図のようにメディアハンガーの端まで移動してください。



2. メディアロールをメディアハンガーに乗せて、壁面のところまで移動してください。
3. メディアロールの動きを防ぐためにメディアハンガーをロールに合わせてください。



4. メディアをメディアダンバの下からメディアアセンブリの中を通して、それからプラテンとプリントヘッドの間を通します。

注記: もし標準の剥がし、ラベル又はライナーリワインダを使用しているのであれば、ユーザーマニュアルを参照してください。

注記: 代替経路は内巻きラベルメディアのためのものです。

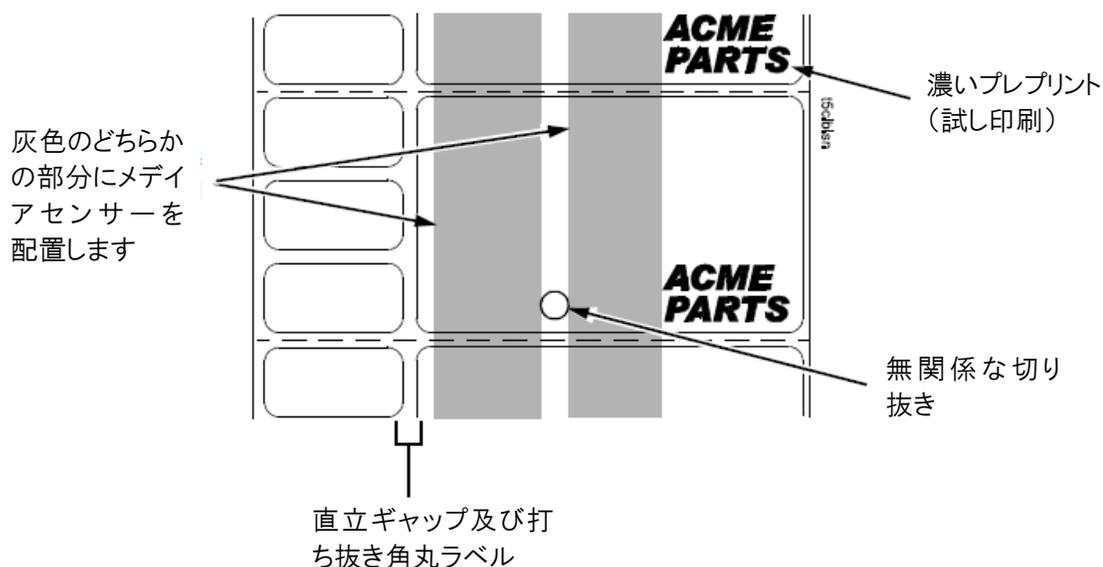
警告: **メディア幅ガイドロックノブが緩んでいる場合や取り外されている場合は、メディア幅ガイドはプリンタから落ちてします。**

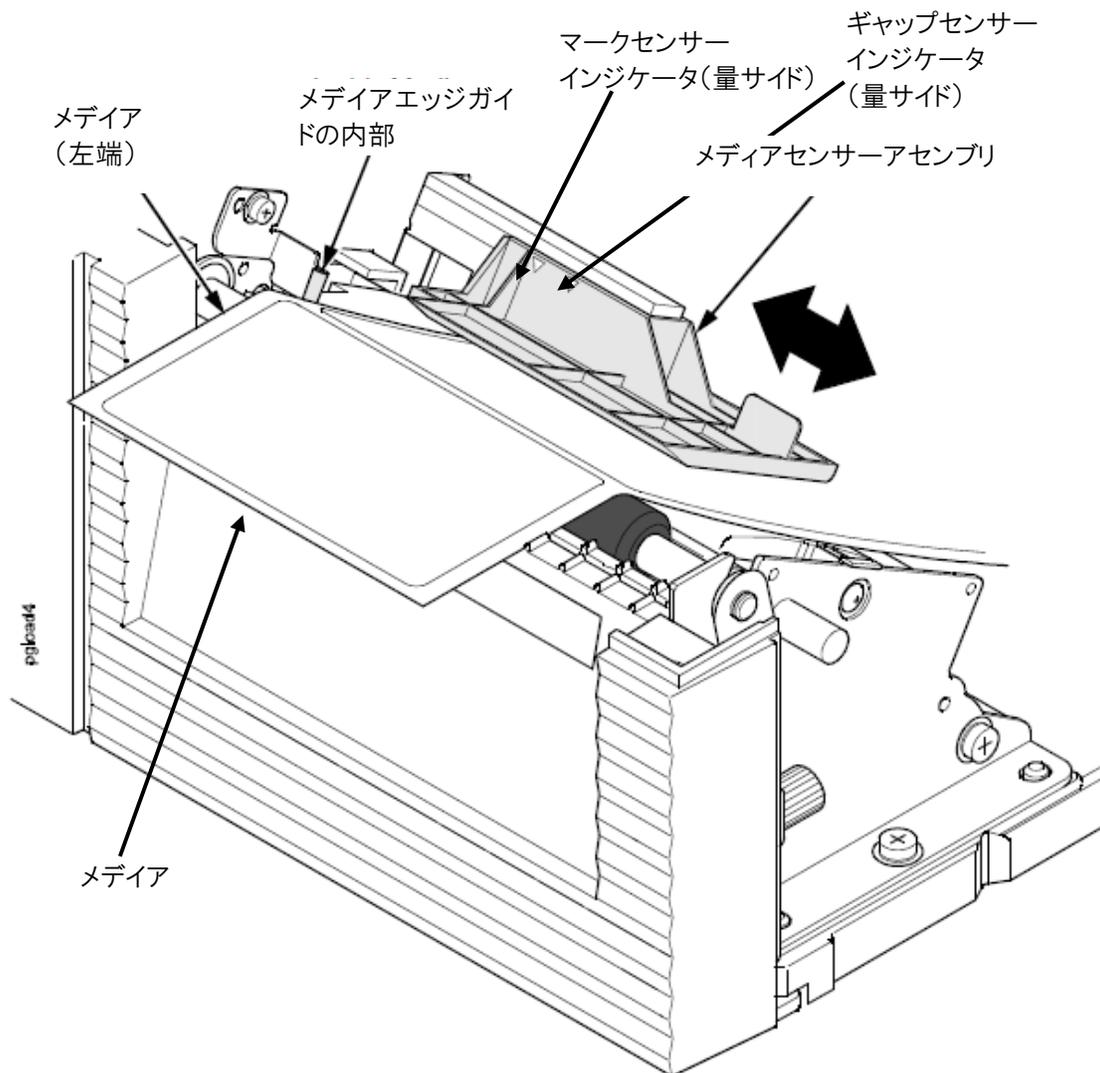
5. メディア幅ガイドが動く程度にメディア幅ロックノブを反時計回りに回してください。それ以上は回さないでください。
6. メディア幅ガイドを設置されたメディアの外側の端に軽く触れるところに位置を定め、ロックノブを時計回りに締めてください。

メディアセンサーアセンブリの位置づけ

このプリンタにはラベルの長さのインジケータ(ギャップ、切り込み、穴又は黒いマーク)が付いたメディアのトップオフフォームを検知するメディアセンサーアセンブリが装備されています。次のページをご覧ください。

ギャップの検知や紙が無いとのエラーメッセージの原因になるようなところにメディアセンサーをメディアの特徴となる通路に置かないように注意してください。そのような特徴とは、下の図のように濃いプレプリント、打ち抜き角丸ラベル、ラベルに関連する直立ギャップ、及び無関係な切り抜き。

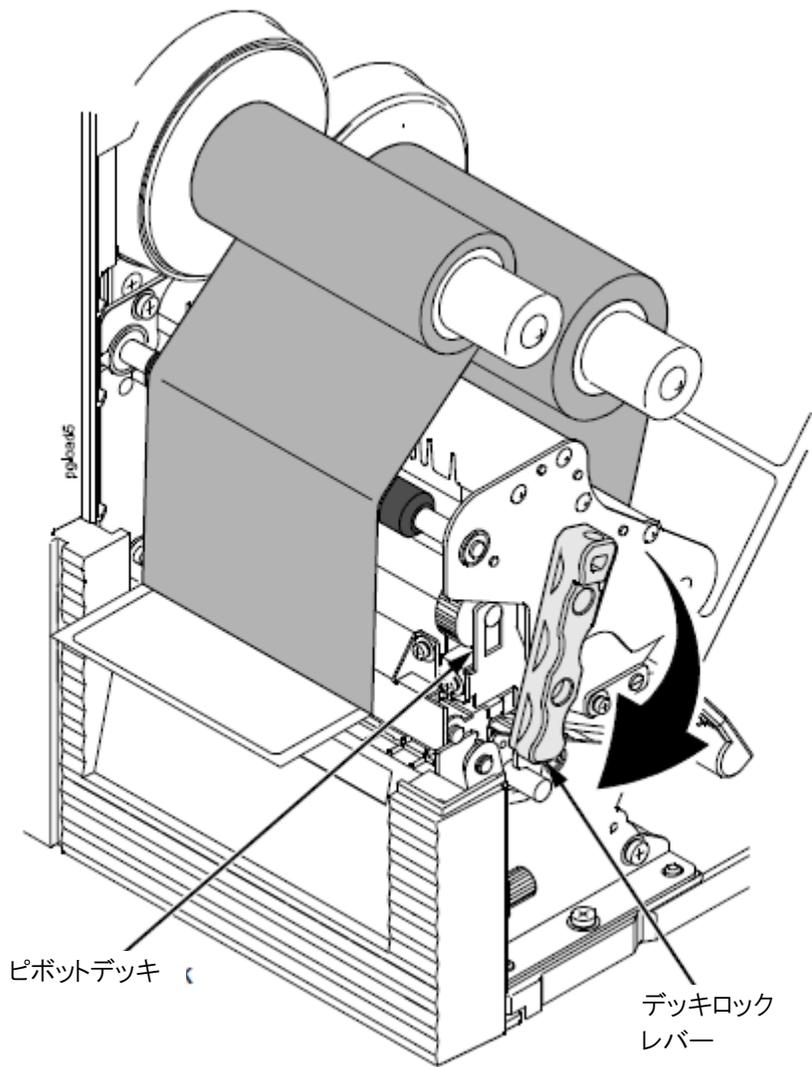




1. メディアの左端(内側)を内側のメディアガイドに合わせてください。
2. ラベルが特別なラベルの長さのインジケータがない場合、メディアセンサーアセンブリを工場設定の位置のままにしておいてください。

さもなければ、メディアセンサーハンドルを使ってメディアセンサーアセンブリを水平な位置に合わせて、メディアにあるラベルの長さのインジケータと両サイドにエンボスされたセンサーインジケータの位置合わせを行ってください。

黒いマークのあるメディアにマークセンサーインジケータを使い、ギャップ、切り込み又は穴のあるメディアにはギャップセンサーインジケータを使ってください。



3. デッキロックレバーを時計回りにいっぱい回してピボットデッキを閉じてください。
4. RFID エンコーダを持っている場合、カプラーを調整する必要があるかも知れません。
5. メディアカバーを下げてください。

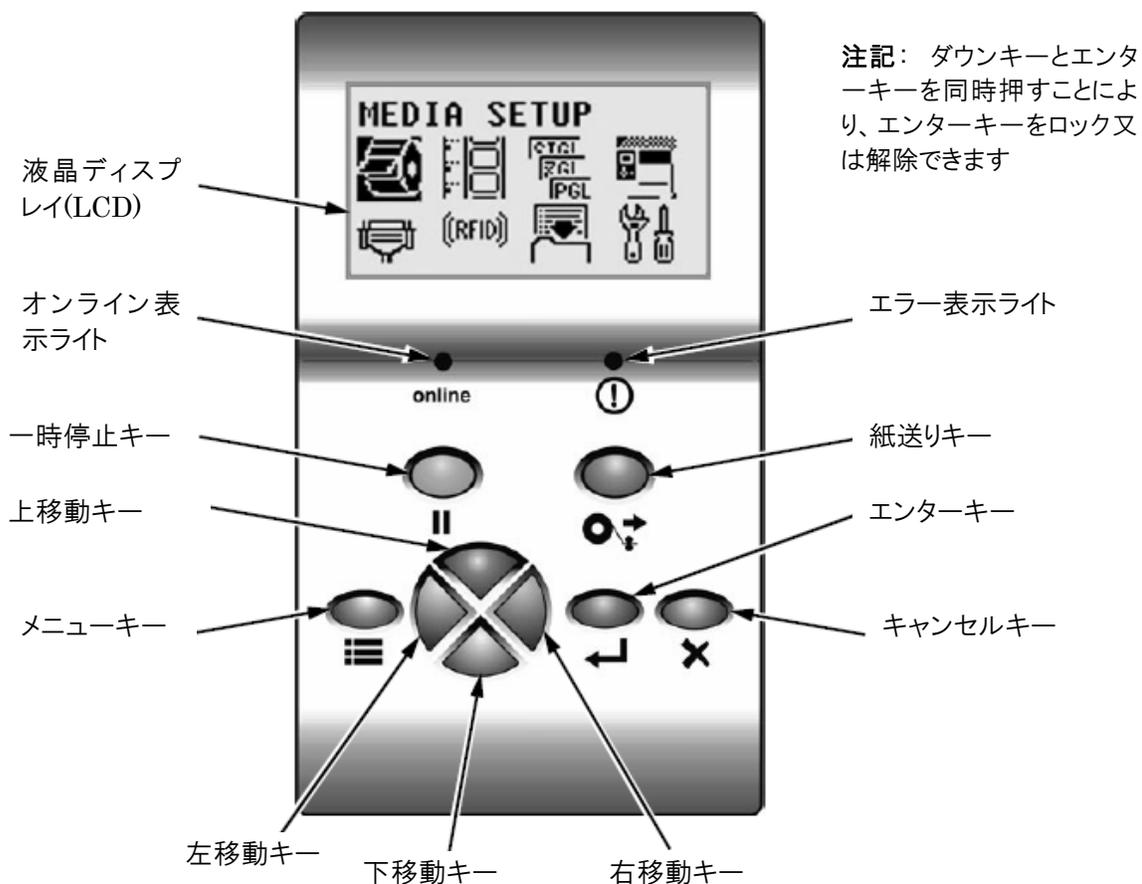
コントロール及びインジケータ

パワースイッチ

パワースイッチはプリンタ前面の下部にあります。電源を入れるにはスイッチを I (ON)ポジションにして下さい。プリンタを最初にパワーオンすると、コントロールパネルのLCD上にいくつかの初期化メッセージが表示されます。電源を切る場合、パワースイッチを 0 (OFF)ポジションにして下さい。

コントロールパネル

コントロールパネルはプリンタ前面にあり、LCD、インジケータ及びコントロールキー(ボタン)がついています。



バーコードデモテストを行う

実際にプリントジョブを送る前に、バーコードデモテストを行ってください。

1. プリンタの電源スイッチを I (ON) にしてください。
2. プリンタの LCD 画面に ONLINE 又は OFFLINE と表示された場合  を押してメニューモードに入ってください。
3. THE ENTER KEY IS UNLOCKED と表示されるまで、ダウンとエンターキーを押せえておいてください。
4. DIAGNOSTICS  が表示されるまで右キーを押してください。
5. エンターキーを押して DIAGNOSTICS(診断)メニューに入ってください。プリンタのテストサブメニューが選択されます。
6. バーコードデモが表示されるまで、右キーを押さえてください。
7. エンターキーを押します。プリンタはオンラインになり、バーコードデモテストパターンが始まり、2つのバーコードが印刷されます。
8. よければ、さらに印字テストを行ってください。例えば、灰色、グリッド、チェッカーボードなど。他のテストを行うには上の手順2を見てください。
9. もし印字品質に問題があれば、ユーザーマニュアルの“プリントヘッド調整”を参照してください。

隠れメニュー

上級ユーザーのためのメニュー項目はデフォルトで隠されています(メニュー構成には表示されません)。これらを表示するにはアドミンユーザーを有効にしてください(プリントセットアップメニューの中に)



プリンタセットアップウィザードを起動

プリンタドライバのインストール及びプリンタの環境設定をするには CD-ROM にあるプリンタセットアップウィザードを起動してください